

戸田建設株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

記

浜松いわた信用金庫（理事長 高柳 裕久）は、このたび、戸田建設株式会社（以下「同社」）が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本債券」）に投資したことをお知らせします。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESG の目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指します。発行体があらかじめ定めた重要な評価指標とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）によって評価され、発行体に SPTs 達成に向けた動機付けを与える債券です。

本債券の発行条件と連動する SPTs としては、「SBT^{注1)}にて定める Scope1,2^{注2)}の GHG 排出総量の削減率で 2030 年度末に 2020 年度比 42%削減」および「SBT にて定める Scope3^{注2)}の GHG 排出総量の削減率で 2030 年度末に 2020 年度比 25%削減」を設定しています。本投資を通じて、同社の SPTs 達成に向けた取組みを支援することで、CO₂ 削減に向けた活動が推進され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

浜松いわた信用金庫は、今後もさまざまな取組みを通じて、SDGs の達成に貢献できるよう努めてまいります。

<本債券の概要>

発行体	戸田建設株式会社
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2022年6月2日

注1) SBT(Science Based Targets)：パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のこと

注2) Scope1：建設作業所における重機の軽油等の使用により直接排出される GHG 排出量など

Scope2：オフィス等における購入した電気・熱の使用により発電所で間接的に排出される GHG 排出量など

Scope3：Scope1,2 以外の間接排出で当社事業に関連する他社の GHG 排出量など

以上